

2025 年 12 月 18 日

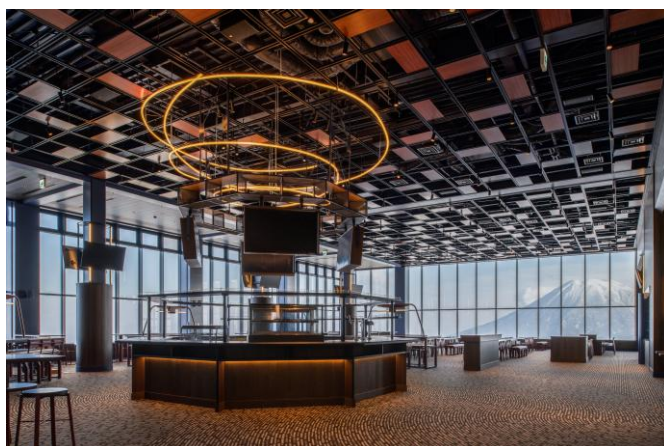
東急不動産株式会社
東急リゾート＆ステイ株式会社

ニセコ東急 グラン・ヒラフ～「Value up NISEKO 2030」プロジェクト第 10 弾～

食の体験価値を創出する新施設 「NEST813」「ALPEN NODE」12 月 20 日同時開業

キング第 3 リフトは 6 人乗りチェアリフトとしてリニューアル

東急不動産株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役：星野 浩明、以下「東急不動産」）と東急リゾート＆ステイ株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：栗辻 稔泰、以下「東急リゾート＆ステイ」）の 2 社は、両社が運営するオールシーズン型マウンテンリゾート「ニセコ東急 グラン・ヒラフ」（以下、「グラン・ヒラフ」）において「Value up NISEKO2030」プロジェクトの取組みとして公表しておりました 100 億円超の投資の一環として、新施設「NEST813」、「ALPEN NODE」を 12 月 20 日(土)に同時オープン、またキング第 3 リフトを 6 人乗りチェアリフト「キング第 3 シックスバック」に更新いたしましたことのお知らせいたします。ニセコ東急 グラン・ヒラフでは、国際的マウンテンリゾートとして更なる利便性向上・輸送力向上・来場者の体験価値向上を目指してまいります。



NEST813 内観



ALPEN NODE 外観

ニセコ東急 グラン・ヒラフ公式サイト：<https://www.grand-hirafu.jp/>

■新レストラン 2 施設開業、既存レストラン 3 施設リニューアル～食を通じた唯一無二のリゾート体験～

2025-2026 シーズンにおいては、新たに 2 つのレストランが開業するほか、3 つの既存レストランもメニューを一新して皆様をお迎えいたします。2025 年 12 月に新たにオープンするレストラン「NEST813」「POWDERHOOD RESTAURANT & TAPROOM」に加え、既存レストラン「sanshoku」「King Bell」「Ace Hill」では北海道が誇る食材を使ったメニューを筆頭に、レストランごとに異なる多彩なメニューラインアップを展開してまいります。5 施設の座席数は計 1,400 席以上となり、かねてよりの課題であったレストランの混雑に対応しております。また、レストランごとにメニュー含めた体験全体を差別化することで、その日の気分で選ぶ楽しみをご提供いたします。単なる「ゲレ食」の域を超え、まさに「食」そのものが滞在の一つの目的となるリゾートを目指してまいります。

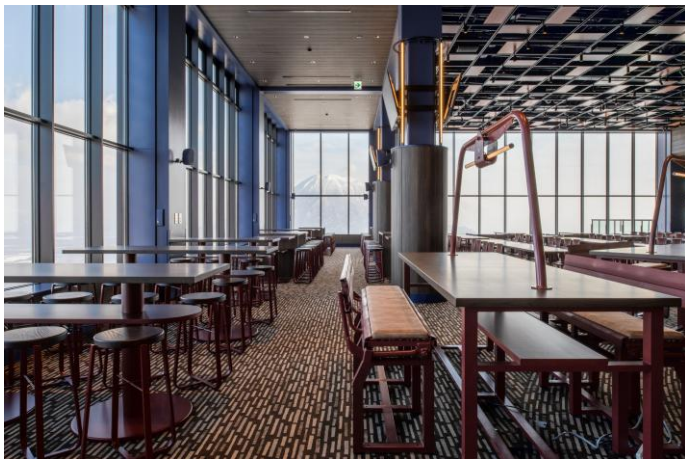
■ 歴史、文化、サステナブルが融合する絶景レストラン「NEST813」

2024-2025 冬シーズンに運行を開始したエースゴンドラ山頂駅舎 2 階に「大自然の巣」をコンセプトにした新しいレストラン「NEST813」が、2025 年 12 月 20 日(土)にオープンいたします。このレストランは標高 813m に位置し、目の前には雄大な羊蹄山を望む絶景テラスが広がります。380 席の広々とした空間で、極上のブレイクタイムとプレミアムな食体験をお届けいたします。目の前でカットされる和牛ローストビーフや焼き立てパン、北海道産とうもろこしスープなど、本格的かつ地元の魅力を活かしたメニューを多数取り揃え、上質な食事を提供いたします。施設内には、本格的な音響設備と DJ ブースやキャッシュレス AI 自動精算機を導入し、来場者の快適性と利便性も追求した次世代型のマウンテンリゾートレストランです。また内外装建材にはフライアッシュ（火力発電所で発生する石炭灰）などの廃材や使用済みコーヒー豆かすなどをアップサイクルした環境配慮型の材料を積極的に利用し、持続可能なリゾート開発に取組みます。また、エースゴンドラの新設前にこの場所で 38 年間にわたり親しまれた、日本最古のクワッドリフト「センターフォー」のリフトの椅子（搬器）を、レストラン内部の家具として再利用しています。新しい空間の中にもスキー場の歴史や親しみやすさを感じられる施設となっています。

【店舗詳細】 <https://www.grand-hirafu.jp/restaurants/nest813/>

【営業期間】 2025 年 12 月 20 日(土)～2026 年 5 月 6 日(水)予定

【営業時間】 9：00～15：30（L.O. 15：00） ※ナイター期間は 17：00（L.O. 16：30）まで



■ 山と街、人と人、冬と夏をつなぐ「結び目」となる新ベース施設「ALPEN NODE」

2025 年 12 月 20 日にオープンする「ALPEN NODE」は、ニセコ東急 グラン・ヒラフのエースゴンドラ山麓至近に新設された、オールシーズン型の体験型ベース施設です。本施設は、2023 年 3 月に閉館したホテルニセコアルペン跡地の一部を利活用し、暫定的に整備されました。“NODE”＝結び目・集合点という英語名の通り、過去と未来、山と街、ゲスト同士、そして季節をシームレスにつなぐ賑わいの拠点です。トランジットグループがプロデュースを担う、ヒラフエリア初のクラフトビール醸造所併設のブリュワリーレストラン「POWDERHOOD RESTAURANT & TAPROOM」を中心に、ゆったりと食事が楽しめるダイニングとカジュアルなバーエリアに分かれ、合計約 240 席＋スタンディングエリアを展開。ハイシーズンは最大 23 時まで営業、DJ ブース・サイネージを使った音楽・エンタメイベントも開催し、街を彩るアブレスキー&ナイトタイムの新名所として機能します。レストランだけでなくショップ・グッズ販売や、夏季はサマーゴンドラやアクティビティの拠点を予定しているなど、冬・夏を通じた交流・発信のハブ機能も担います。



【店舗詳細】 <https://www.grand-hirafu.jp/restaurants/powderhood/>

【営業期間】 2025 年 12 月 20 日(土)～2026 年 5 月 6 日(水)予定

【営業時間】 10：30～23：00 (L.O. 22：00)

ニセコ東急 グラン・ヒラフはスキーヤー、スノーボーダーだけでなく、オールシーズン型リゾートとして滞在するすべての方に多様な体験価値をお届けします。

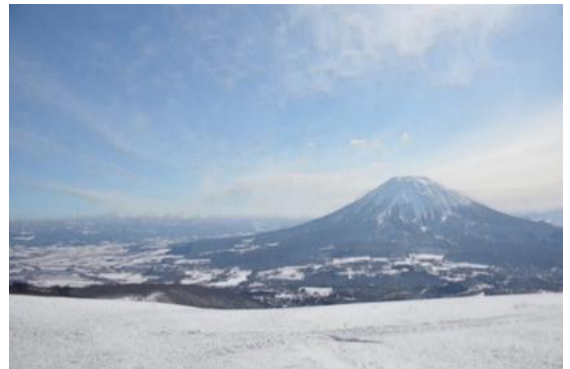
■ 快適性・輸送力を両立したニセコ東急 グラン・ヒラフ初の 6 人乗りチェアリフトへリニューアル

混雑緩和と快適性向上を図るため、スキー場中腹に位置する 4 人乗りリフト「キング第 3 リフト」を、最新型 6 人乗りチェアリフト「キング第 3 シックス」へ全面リニューアル。ニセコ東急 グラン・ヒラフでは初搭載となる、国内でも数少ない「座面シートヒーター」を導入しています。悪天候時もフードによる防風性+暖かさで、快適な乗車体験を実現します。輸送力は従来に比べ 1.3 倍（最大 1 時間あたり 600 名増員）向上し、ゲレンデ中腹の混雑緩和が見込まれます。乗降場にはローディングカーペットを採用し、リフト乗り場の床がコンベヤーのようにゆっくり動き、乗車タイミングを補助することでお子様やスキー初心者でも安心・簡単に乗り降りが可能です。なお、既存のキング第 3 リフトの搬器や電気設備などは、ニセコ東急 グラン・ヒラフ内の他リフト更新に再利用することを予定しており、環境配慮・資源循環にも配慮したリニューアルとなっています。

■ 「ニセコ東急 グラン・ヒラフ」施設概要

「ニセコ東急 グラン・ヒラフ」は、22 のバリエーション豊かなコースを持ち、日本百名山にも数えられる羊蹄山を眼前に望みながら滑走が楽しめるスキー場です。その豊富な雪量とパウダースノーと呼ばれる雪質は、国内外問わず多くのスキーヤー・スノーボーダーを魅了しています。

<https://www.grand-hirafu.jp/>



2025-2026 ウィンターシーズン

【営業期間】 2025 年 12 月 4 日（木）～2026 年 5 月 6 日（水）予定

【営業時間】 8：30～16：30 ※ナイター期間は 19：00 まで

（ナイター期間 2025 年 12 月 13 日（土）～2026 年 3 月 22 日（日））

【所在地】〒044-0080 倶知安町ニセコひらふ 1 条 2 丁目 9 番 1 号

【交通】車|札幌より国道 230 号中山峠経由で 94km/約 120 分

後志自動車道仁木 IC 経由 105km/約 105 分

新千歳空港より国道 276 号線経由美笛峠経由で 112km/約 125 分

鉄道|札幌駅～倶知安駅（小樽経由）、倶知安駅よりタクシー又はバスにて約 20 分

【主要施設】ゲレンデ | [標高]260m～1,200m [標高差]940m [コース数]22 [面積]135.3ha

[最長滑走距離]約 5,300m [最大斜度]40° [平均斜度]15°

[構成]初級 45% 中級 28% 上級 27%

リフト・ゴンドラ | [ゴンドラ]2 本 [シックス]1 本 [クワッド]1 本 [ペア]4 本 [シングル]1 本

■ 東急不動産が進める「Value up NISEKO 2030」について

2030 年に向け持続可能な発展を目指すリゾート、選ばれ続けるデスティネーションとして、世界に通用する「NISEKO」ブランドを行政・地元企業・地域の方々と連携して、課題解決やエリアの活性化を企図したまちづくりプロジェクトです。2022 年 10 月に北海道・倶知安町と「スキーの町宣言 50 周年を契機とするオールシーズン型国際リゾートの形成に関する包括連携協定」を締結し、スマートリゾート推進のほか、スキー場の索道更新などのハード面整備だけでなく、オールシーズン化に向けた施策などソフト面の取組みも地域連携を強化して取り組んで参ります。ソフト面の取組みとして、グリーンシーズン活性化に向けた取組みの他、"ファーストトラック"の権利を付した国内初のスキーNFT「Niseko Powder Token2.0」の実証実験や積雪を利用した発電事業の社会実装実験、スキーバレーサービスの試験運用を実施しました。ニセコ東急 グラン・ヒラフは、「アジア No.1 の国際的リゾート」の実現を目指し、来場者の体験価値向上に向け、今後も複数の取組みを推進してまいります。

なお、これまでお知らせしてまいりました Value up NISEKO 2030 プロジェクトについては、下記 URL よりご参照ください。

<https://www.tokyu-land.co.jp/wellness/resort/niseko.html>